

# 猪の瀬戸の風だより

2007.9.30

9月号 No. 2

猪の瀬戸湿原保全の会

## 「猪の瀬戸湿原」---水源地としての猪の瀬戸-----

(文責：渡嘉敷)

泉都別府の観光港を起点として別府一宮線（県道 22 号線）は海拔 0 m からはじまる。大分県別府と熊本阿蘇一宮を結ぶ通称やまなみハイウェイと呼ばれている。

別府インターを出て左折するとやまなみハイウェイを阿蘇に向かう。次の信号の堀田三叉路から湯布院までの 17 Km 間には東山交差点に唯一の信号機があるだけであとは信号機が無く良いドライブコースである。見返り坂からは別府の町並みと別府湾が眺望できる。東山交差点から城島高原を経て猪の瀬戸（INOSETO）に到着する。県道の左右に眺望が開けた海拔約 700 m 付近が猪の瀬戸である。別府の観光パンフレットや別府市役所庁舎内の地形模型には城島高原は出てくるが猪の瀬戸の文字は無い。

猪の瀬戸は湿原（猪の瀬戸湿原）であることは市民や県民にほとんど知られていない。阿蘇くじゅう国立公園内の第 1 種特別地域に指定された景観・風致・生物多様性の保全のための法的規制のある場所である。

猪の瀬戸湿原には鶴見・由布・水口山に囲まれ周囲の山に降った雨が地下水となっていたる所に湧水地点がある。湧き出た水は城島川をはじめとして由布川から賀来川を経て大分川となり別府湾に注ぐ大分水系を形づくる。猪の瀬戸湿原は、下流域の人々の農業・生活などの大切な用水の供給地である。

湿原の中央を流れる城島川は土砂の浸食が認められる。侵食された土砂は湿原内へ流入堆積して湿原が失われている。乾燥化や陸地化と呼ばれる現象が認められる。城島川の土砂の浸食と流入は、防災上の国土保全と第 1 種特別地域の意味が問われている。乾燥化する湿原を再生するうえで優先順位の最も高いテーマといえる。そのため、猪の瀬戸湿原の現状認識を関係者や市民に広めることが必要とされている。

活動報告

7月29日（日）

第22回猪の瀬戸湿原再生プロジェクト



猪の瀬戸一帯の清掃活動に取り組みました。

3グループに分かれ、湿原、やまなみハイウェイ沿い、エコーライン沿いでごみを拾い、ビン、カン等の他テレビやバッテリーも回収しました。

今回の清掃活動に合わせ、外来種のイタチハギを湿原から持ち出しました。

世話人会報告	8月 4日 大分県庁	出席（渡嘉敷・児玉・熊野・森田・小坂・工藤・）
--------	---------------	-------------------------

○世話人会について

→これまで不定期に活動していたが、今後は毎月（第1土曜日午後）開催する。

○湿原内にある廃車（白い軽自動車）について

→別府県民保健福祉センターや別府警察署と協議した結果、遺棄物として処理できる見込み。あとは、地権者の了解が必要である。

○湿原内のタイヤについて

→世話人会（渡嘉敷、児玉両氏）が、別府県民保健福祉センター、産業廃棄物処理業協会と一緒に現地調査を行ったところ、協会がボランティアで処理をしてくれることとなった。

○新しい地権者との関係 →できるだけ早期に会って話しをすることが必要だ。

世話人報告	8月21日	(株)モルガン・スタンレー・プロパティーズ・ジャパンと会談
-------	-------	-------------------------------

猪の瀬戸湿原の地権者であるモルガン・スタンレー・プロパティーズ・ジャパンの担当者へ8月21日話し合いに行ってきました。こちらが話したのは

- 1) 猪の瀬戸湿原の様子（植生・生物多様性など）と会の活動の様子。
- 2) 廃棄車両とタイヤの撤去願い。3) 土砂流入の現状について の3点です。

対応していただいたのは、モルガン・スタンレー社の志賀さんと城島後楽園を運営しているセントレジャー・オペレーションズの小柳さんです。

2) の廃棄車両とタイヤの撤去についてはこちらが行なうことについて快諾していただきました。3) の土砂流入については、城島後楽園のゴルフ場でも発生し、今後の対応について情報交換等を行ないたいと話合いました。

ご案内	9月30日（9：30集合）	第24回 猪の瀬戸湿原再生プロジェクト
-----	---------------	---------------------

猪の瀬戸湿原周辺の清掃活動に取り組みます。

1) タイヤ回収 台風等による大雨で上流から湿原内に流れてきたタイヤ（約40本）を持ち出します。また、エコライン沿いに不法投棄されたタイヤも引き揚げ回収します。回収後のタイヤ処理は、産業廃棄物処理業協会がボランティアでして下さることになりました。

2) 現地調査 猪の瀬戸の地形がどのように変化していくかを継続的にモニタリングしていくための計画を考え、実行します。



発行：猪の瀬戸湿原保全の会 事務局（工藤）

〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号 大分県企画振興部景観自然室内

電話：097-506-2122 FAX：097-506-1730

メール：al0550@pref.oita.lg.jp

